

平成27年度「瀬戸内タウンミーティング」対応状況（平成27年9月5日牛窓町公民館開催）

担当課・室	地区	ご意見の要旨	市長の回答	対応状況
建設課	牛窓	<p>昨年のタウンミーティングで唐戸を掘ることについて要望して、本年6月に唐戸に通じる水路の浚渫（しゅんせつ）工事をし、掘っていただけよかった。最も土砂がたまっている一部の場所は、なぜできないのかと思うので、今も引き続き検討していただいているということで、今後ともお願いしたい。</p>	<p>唐戸の改修についてはタウンミーティングで意見として早速県民局や県議に動いてもらって実現した。タウンミーティングやセトリークは言ってみるだけではなく、我々もそれに対してどのように対応できるか考えて行っている。それによって実現できることも多いので、できるかわからなくても言い続けるというのは大切なことだと思う。そういう意味でもこれからもご意見いただきたい。残りの箇所をどうするかということだが、地域全体を考えたときにどうあるべきなのか話をしていく必要がある。</p>	<p>平成27年は、県工事で鹿忍橋から中海までの間で、500tの土砂を撤去してもらうことができました。県も引き続き上流部分の予定をしています。</p>
企画振興課	牛窓	<p>ゆるキャラグランプリにセットちゃんがエントリーしているが、このことについて瀬戸内市民、市役所内の盛り上がり方はどうか。せっかくエントリーしているのだから、目標みたいなものはあるのか。</p>	<p>ホームページでも公開しているがなかなか順位が上がらない。ランキングで高い順位を目指そうと思うと担当課も含めて頑張らないと盛り上がりは難しい。ほかで一生懸命頑張っているところを参考にさせてもらいながら、それだけやろうとするとどだけの手間やどういこうところをお願いをする必要があるのかなど研究して、皆さんがやろうと盛り上がりたければいいかと思う。ゆるキャラにあまり多くのお金をかけるというには意見や批判もあるので、無理のない範囲で効果的な方法を検討していきたい。</p>	<p>広報紙、ホームページには掲載していますが、市民、市役所内ともに盛り上がり欠ける状態です。具体的な目標は掲げていませんが、前年よりも上位に入れるように広報などの対応をしていきます。</p>
健康づくり推進課	牛窓	<p>健康まつり、健康フェスタ、健康体操などのイベントが、いつもゆめトピアで行われる。牛窓から参加しようとする人の中には車に乗らない人もいる。行こうとすると牛窓から色久までバス、色久から長船までタクシーで行かなければならないので、中間の色久でしたほうがいいのか。ゆめトピアですと交通の便が悪いので、市の行事があるときは、市のバスを出すなど交通手段があるとみんなが参加できるのではないのか。</p>	<p>牛窓の方が健康づくりに関する機会をどのように設けられるか検討するように話をしてみる。市だけで難しければ、社会福祉協議会や老人クラブなどの関係機関と話をしながら牛窓の皆さんの健康づくりに検討したい。</p>	<p>社会福祉協議会、老人クラブ、地区の代表者、婦人会、公民館などからのご要望があれば、ご依頼内容に応じて保健師や栄養士を地区の公会堂などに派遣して、健康づくりに関する講話、栄養指導、運動指導などを行っています。大きなイベントは、広い会場と駐車場が必要になるため、現在の瀬戸内市では必然的に、ゆめトピアで行わざるを得ないことをご理解願いたいと思います。ゆめトピアでのイベントへの送迎については、広報紙、愛育回覧等でお知らせし、バスのご用意をしていましたが、利用される方が少なく、現在中断しています。ご近所お誘い合わせの上、乗り合わせてご来場くださるよう、お願いしたいと思います。</p>
市民病院	牛窓	<p>牛窓の病院が廃止になった後、どのように考えているのか。また、病院の裏に旧医師の住宅があるが、古くなって危ない。</p>	<p>牛窓の診療所について、先日「牛窓診療所を再開するのは非常に厳しい。廃止はやむをえない。」との答申をいただき、あわせて「交通手段を確保するように」と付けられているので、重きを置きながら今後も判断をしていきたい。今、休診の状態、廃止するとは決まっていない。廃止するのであれば、廃止条例を議会に上げ、議会が廃止はやむを得ないということで条例を可決すると廃止ということになる。今後議会でも議論していただきたい。仮に答申通りに廃止ということになれば、廃止条例ができて廃止して、そのあとの建物の活用は地域の皆さんと相談しながら考えていくようになる。民間の事業者で使いたいといわれるかもしれないし、古くて耐震化もできていないから更地にして使いたいといわれるかもしれない。市が更地にして公売、競売にするなどになるかもしれない。今の休診のままだと、合併浄化槽があるので、それを維持するために電気を切ることができないので、お金がかかり続ける。廃止にせず休診のままずっとお金がかかり続けるし、他のものに活用しようとするといつたん廃止にしないと利用ができない。そこをどうい風地域で皆さんの皆さんが考えるかということでここをよく議論しなければならない時期に来ている。いずれにしても、牛窓の方々の健康を守る体制を作っていくこと、土地や建物を資源としてどう活用していくのかの両方を検討するのに少し時間がかかると思う。また、医師の住宅は取り壊しの方向で今後検討していく。</p>	<p>牛窓診療所は、平成28年4月1日に廃止する条例を平成27年12月18日に市議会でも議決いただきました。受診されていた患者さんの激変緩和措置として運行している無料ジャンボタクシーは、当分の間運行を継続していきます。今後、跡地利用について慎重に検討していく予定です。また、医師住宅の取り壊しにつきましては、近隣の方々と協議しながら、検討していきます。</p>
建設課	牛窓	<p>高潮の時に、海の水面の高さ、樋門の高さなどの差が一目でわかるような目印を海と陸のところにつけてほしい。メーターでわかるようにできればいいが、そこまでできなくても、高さが分かりさえすれば構わない。玉野市の宇野などでは全部樋門にメジャーがはってある。</p>	<p>樋門の開け閉めは台風の中、地域の方がやってくださり、ありがたいと思っている。危険な状況での作業もあると思うので、いづらかでも負担が減っていくようなことにつながるのであれば、考えなければならぬ。担当課と相談して検討したい。</p>	<p>岡山総合防災情報というサイトで、牛窓ヨットハーバーにある潮位計のデータを閲覧することができます。また、具体的な場所を要望書で提出していただければ、港湾管理者の県に要望するなり、市管理の遊水池等であれば、市で設置を検討します。</p>

平成27年度「瀬戸内タウンミーティング」対応状況（平成27年9月5日牛窓町公民館開催）

担当課・室	地区	ご意見の要旨	市長の回答	対応状況
市民課	牛窓	人間ドックは、75歳以上は申し込みできない。また、申し込みは先着50人ほどなので、4月に電話して申し込もうとしたらいっぱいだった。80歳くらいまで申し込みできたらと思う。	高齢者の人間ドックについては、先着60人なのですぐ定員になってしまったが、今年から75歳以上も人間ドックができるようにしている。岡山県後期高齢者医療広域連合というところからお金をもらって行っているため、基本的には市の負担がない。岡山県後期高齢者医療広域連合がお金をいくらくれるか分からないので、今年は手始め60人でやってみた。状況をみながら増やすかどうか財源のことも含めて検討したい。	平成27年度において、人間ドックは国民健康保険540名、後期高齢者60名の枠で実施しています。なお、後期高齢者の人間ドックにおいては、平成27年度からの新規事業として実施しています。毎年2月広報の折り込みにより先着順で募集を行っています。ご指摘のとおりどちらも好評で、国民健康保険は2週間程度、後期高齢者は1日でいっぱいとなり、ご希望に沿えない状況となっています。平成28年8月には、新病院が完成予定となっており、今後岡山県後期高齢者広域連合、病院事業部及び財政当局と協議の上、増員できるか検討していきたいと考えています。
生活環境課、建設課	牛窓	台風がきたら海水浴場以外の海岸がごみでいっぱいになる。いつまでもごみが残っているが、何とかしてもらえないか。ラジオを聞いていたら、国が資金を出してきれいにすると聞いていたが、瀬戸内市はどうなのか。道路までごみを上げたら市のほうで持っていくと担当課に言われるが、老人が多く、何が流れてくるか分からないので、一般の市民だと道路までもっていくのが難しい。牛窓町のときは環境の担当課が、台風の後何日かかけて片付けていた。	(産業建設部長) 台風ごみの回収は、道路は回収しており、海水浴場があいているときは観光協会が行っている。 (市長) 海水浴場以外のところは、危機管理部、市民生活部、産業建設部でどのようにするか、対応を検討しなければならない。	(生活環境課) 現在、道路・海水浴場以外の場所に打ち上げられた漂着ごみ等は、地域のボランティア等で回収・運搬していただければ、市で処分しています。 (建設課) 海水浴場以外のところは、県管理の海岸でごみが大量な場合は、県に依頼して回収してもらうように要望します。